

# ★ まちづくり ★ ニュース



ホームページ

<https://tokiwadai.net/>

228号



2020年9月30日

常盤台の景観を守る会  
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

## — 都心低空飛行問題について —

### ○ 国交省との院内レクチュア

9月24日(木)参議院会館で、粘り強く国交省と院内集会を設定して話し合いを続けている人達があります。裁判という真正面からの激突ではなく、こういう話し合いの中で国民の声を汲み取ってくれるに越したことはありません。

このレクチュア運動以外に、訴訟・署名・住民投票・各地の集会・説明会要請・陳情など、色々な方法で、なんとかこの愚策の撤回をという努力が続けられています。

### ○ 行政訴訟始まる



9月28日(月)11時から東京地裁103号法廷で、いよいよ羽田問題の公判が開かれました。103号法廷に約2倍の抽選がありました。常盤台の3人といたばしの空を守る会の1人の4人とも外れてしまいました。12時過ぎから弁護士会館での報告では、弁護士2人、原告2人の陳述があったそうです。次回は2月5日！困っている人達にとってはなんと悠長な日程。

前日から特集した東京新聞によれば国交省が渋っていたのに、官邸が脅しとも取れる言い方で押し切ったそうです。ここでも官僚の良心は権力に押しつぶされたのです。

世界に類を見ない人口密集地に航路を設定するという案に疑義を抱き、反対していた国交省官僚は何人もいたでしょう。赤木さんのように自殺せず左遷を恐れず、権力側の非を糾す公務員魂はどこにいったのでしょうか。

立法も行政もなんだか国民そっちのけで、自分の保身だけ考えているように思えます。

### ○ みなとの空を守る会のブログから

・私のマンション東側をいつも飛行機が低空飛行しているのを見かけます。墜落でもしたらひとたまりもありません。是非新飛行ルートを中止して下さい。どうしてこのような危険な事をなさるのか理解に苦しみます!!(三田1)

・国益より、まず国民の健康を考慮すべき！よく考えて下さい。(白金台2)

・想像以上に騒音がひどく、家で窓を閉めていても大きく聞こえてきます。飛行の間隔も短く、心が安まりません。どうか家での穏やかな生活を戻してほしいです。よろしくお願い致します。(白金台2)

・音がひどく二重ガラスにする必要があるのですがマンションなのでそのスペースがなく出来ません。低く飛んでいるので落下したら大変と思う。またこのままでは健康を害したり精神的にまいる人が多くでると思うので考えてほしい。(南麻布4)

・コロナ禍飛行機の減便続きの中、新ルートを強行する意味がわからない。何一つ国民目線でない事に腹がたちます。(高輪1)

こういう切実な声をどう思いますか？程度の差こそあれ、直下にある常盤台も他人事ではありません。この苦しみが解らない人は想像力が欠如しています。板橋区が新航路を受け入れるとしたら、他の区民は了承しているとアリバイに使われ、品川や港区の人達を孤立させてしまいます。だから板橋区でも北区でも反対に立ち上がらなければなりません。

「羽田問題訴訟の会」へのサポート希望は 黒田さん(090-1460-8509)まで。ご寄付は「ゆうちょ銀行(支店)138(普通)1142264 羽田問題訴訟の会」へお願いします。

## 企画総務課の説明会で

地域センターで九月二八日、公共施設の再配置について説明会がありました。参加した区民から色々な意見が出ていましたが、いつもの板橋方式で、多分ただ聞き置く程度にされるでしょう。常盤台の図書館跡地についての住民との話し合いも持つ気はなさそうです。

平和公園の一部を潰して新中央図書館を建設するのだから、旧図書館跡は公園に戻すべきだという意見が聞かれました。三丁目の集会所廃止に反対して「ときわ台のまちづくりを考える会」という紛らわしい名前の会ができています。終了後も入口で何人か区民の声が届かない区の状態を歎き合っていました。

## おとしより相談センターの場所

聞きたいことがあって、常盤台おとしより相談センターに電話しました。驚いたことに今まで常盤台一丁目の集会所にあったはずのセンターが、上板橋の方に移動していました。見過ごしたのかも知れませんが、広報や町会のお知らせにも無かったように思います。周知の徹底に問題があるのと、年寄りが増えるのに広い常盤台地域に一カ所しか相談センターがないなど、区民の声を尊重してくれないのが何より不満です。

S・T

## 駅前トイレ改修中

駅前ロータリーの中の公衆トイレの改修が行われています。洋式トイレへ変更し、ときわ台駅舎に合わせたカラーにするそうです。

## 福島原発の痕跡 板橋区でも

（成増在住のOさんのブログからです。Oさんも文中のAさんも、南相馬市で放射能測定ボランティアをしています。AさんにO家のハウスダストに含まれた放射性物質を測定してもらうため、Oさんの部屋の掃除機で9月に収集したゴミ48.7gを提出した結果です。）

結果は、なんとセシウム137が57Bq/kg検出。福島第一原発事故から既に10年を迎えようとしているのに、はるか200km以上も離れた板橋で未だにこうした放射性物質が浮遊しているという現実には驚かされました。

しかし、Aさんの話では「南相馬市原町区の住居の多くでは3,000~4,000Bq/kg検出される」とのこと。国が安全性に関する根拠もないままに指定した20ミリシーベルト基準設定により避難解除された方々のことを思うとやりきれません。

## 「まちづくりニュース」配布状況

このニュースは常盤台北ロー・二丁目のポストに二十数名の方が分担して一七〇〇部を配布、一七年間、月一回の割合で続いています。その間、不配のご希望はわずか三軒でした。連絡されれば不配にいたします。

アパート・マンションの場合は配達の人判断にお任せしています。済みませんが大型で吠えつく犬のいる家は配布できません。紙面では匿名やイニシャルにしますが、住所・お名前の無い無責任なものはお断りしています。多様な問題で自由なご意見ご投稿を歓迎しています。

## 常盤台公園のはなづくり

緑と公園課から連絡あり。現中央図書館をいずれ解体するが、前にある二カ所の花壇をどうするかの問題。花壇を復原してボランティア活動を続けるか、角のクリスマスローズの所だけにするか、などについて希望があれば、と言う話です。

図書館前の二カ所は、区が放りっぱなしにしていたので、当初西北の角の花壇だけで活動していた花づくりの会が、自発的に面倒を見ていたところ、年二回の花苗の支給を区側からしてくれるようになり、チューリップについてはご存知のマーメイドでの循環が何年も続いて皆さん楽しんで頂いていると思っています。

私たちの活動は公園全体に及び、図書館の北側のバラの柵やツツジの刈り込み、芝生の手入れ等々で、区の人件費は十年以上だいぶ節約できたはずで。

しかし、私たちも高齢化し、身体の故障と闘いながらの作業は、かなりきつく、今夏の雑草繁茂の様子からみても今まで通りの活動は無理だと判断しました。

後を引き継いで花壇の面倒を見て下さる方が現われるのを首を長くして待っています。自分たちの街を美しく保つのはやりがいのある仕事だと思えます。

解体は来年度ですが、四月のチューリップの球根は発注済みなので、春の花壇を楽しめるよう公園課に要望しておきました。

